

# 放射線生物学研究

人類の英知を活かす。便利な放射線を正しく理解し、上手に使うことの大切さ。

リスク

ベネフィット

・低線量緩照射放射線の生物影響研究

放射線診断

・高線量急照射放射線の生物影響研究

放射線がん治療の基礎研究

物理・化学レベル

分子・細胞レベル

組織・器官・  
個体レベル

放射線  
紫外線  
化学物質  
(制がん剤)  
温熱  
宇宙

遺伝子損傷  
DNA修復  
細胞死  
突然変異  
ゲノム不安定性

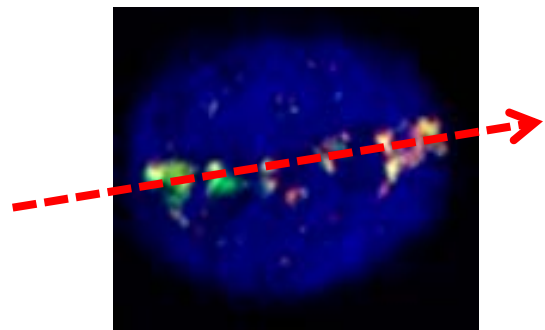
防護・  
診断・治療

研究テーマ: 放射線による細胞応答機構の解明

- (1) 放射線による初期損傷および修復機構の解析
- (2) 放射線に対する細胞の防御機構の解析
- (3) 放射線による効果的ながん治療の基礎研究

研究体制

准教授	1名
技術補佐員	2名
大学院生博士課程 (腫瘍放射線科)	2名
大学院生修士課程	1名



連絡先:

群馬大学・昭和キャンパス医学部基礎棟1F南正面入り口左 MA1-29  
先端科学研究指導者育成ユニット(放射線生物)

准教授 高橋昭久

Tel, +81-27-220-7917; Fax, +81-27-220-7919

E-mail, a-takahashi@gunma-u.ac.jp

[http://asrldu.dept.med.gunma-u.ac.jp/atakahashi/akihisa\\_takahashi.html](http://asrldu.dept.med.gunma-u.ac.jp/atakahashi/akihisa_takahashi.html)